

診療科目：血液内科

カテゴリー：必修科目、選択科目

一般目標：基本的な診察手技を身につけた上で、血液疾患の診察、検査、処置治療法（抗腫瘍剤や、輸血、支持療法、免疫抑制療法、抗生剤、G-CSF）などの専門診療を経験する。

【個別目標】

- ・ 血球減少、血球増加、出血傾向、リンパ節腫脹を有する患者の問診、診察ができ、検査計画を立て、鑑別診断をすることが出来る
- ・ 貧血・リンパ節腫脹・出血症状・肝脾腫を見逃さず診察することが出来る
- ・ 末梢血塗抹標本で血球の分類が出来る。
- ・ 骨髓穿刺の適応を理解し、検査を行なうことができる。
- ・ 骨髓塗抹標本で悪性細胞を区別することができる。
- ・ リンパ節生検の適応を理解し、診断に必要な検査項目を選択することができる。
- ・ 輸血の適応と副作用が理解し副作用発生時に適切な対応ができる。
- ・ 発熱性好中球減少症を診断し、抗菌薬を選択することができる。
- ・ 敗血症を合併した時に抗菌薬を正しく選択することができる。
- ・ 抗癌剤の副作用を理解し、血管漏出の処置が出来る。
- ・ G-CSF 製剤の適応と投与法を理解する。
- ・ DIC の診断ができ治療方法を理解する。
- ・ ステロイド療法の適応と副作用を理解する。
- ・ 造血幹細胞移植の概念と適応を理解する。
- ・ 癌性疼痛の管理を行うことができる。

【指導原則/方法】

1. 血液専門外来にて指導医とともに患者を診察する。
2. 入院患者の担当医となり、指導医とともに治療にあたる。
3. 骨髓穿刺などの検査手技や血液像の読み方の指導をうける。
4. 血液カンファレンスおよび症例検討会に参加し、入院患者全般についての討論に参加する。